

## 第 469 回 三水会便り <平成 30 年 11 月>

### ★三水会例会

#### ☆第 654 回例会

日 時：10 月 17 日（水）18:00～20:00

場 所：山岳会会議室

出席者：川崎泰照（演者）、石井由紀、石原康生、掛江正道、勝田房治、川島新太郎、小泉義彦、佐藤正樹、塩澤厚、下野武志、武田幸男、豊田茂、平野幹雄、平井拓雄、長岡政利、増田達治、寺沢玲子（ゲスト）、山崎祐和（ゲスト）以上 19 名

市川山岳会 OB 会の川崎泰照氏から「ティリチミール登頂後の確執とその帰結としてのミニヤコンカ遭難」という話を伺った。市川山岳会は、1982 年 3 月、中国・四川省のミニヤコンガ（7556m）に遠征した時、C4 建設に向かっていた菅原、松田、鈴木の 3 隊員のうち鈴木隊員が滑落して脱落、菅原、松田の 2 隊員で C5（6800m）より登頂に向かうが、悪天候のため頂上直下（7500m）でルート、方向を見失い 2 回のビバークの後 C5 に帰れたがトランシーバーが作動せず下と連絡不能。2 晩停滞後食糧が無くなり下降を開始したが再び風雪、菅原隊員が雪庇を踏み外す滑落事故があったが雪に埋没した C3 に入らず。ルートの北東稜から漸く脱して C2 に着いたが、支援隊は登頂隊より連絡が途絶えていたので遭難したものと判断して、その前日に撤収してしまっていた。余りにも早すぎた判断であった。菅原隊員は C1 跡下で凍死、松田隊員は重度の凍傷に罹るも地元住民に救出された。これが、その 15 年前、1967 年のパキスタン・ティリチミール（7706m）遠征時と類似性があったこと、9 月の菅原隊員の遺体収容隊の報告（演者の川崎氏も参加し遺体を収容したが、隊員の一人が高山病で死亡）があった。

係：塩澤 厚

☆第 655 回例会は、11 月 21 日（水）、日本山岳文化学会会員の田中文夫氏からの「登山と山岳スポーツの違い」のお話です。現代登山と山岳スポーツ等の生態分類などについて 判り易く解説されると思います。多数、ご参加下さるようお願い致します。

係：小泉義彦

### ★三水会山行

☆10 月山行報告 10 月 29 日（月）、高崎線本庄駅から西上州・上野村の不二野屋の車で天狗岩（1213m）に向かう。往復 3 時間余の登行で、山頂の展望台からは西上州の山々が良く望まれた。翌 30 日（火）は埼玉県との県境にある宗四郎山（1513m）に向かう。天丸トンネルを過ぎた埼玉県側の山吹トンネル手前から尾根に取り付き（約 30 分）、尾根通しに約 1.5 時間で 1513m の標識がある山頂に着いた。絶好の晴天に恵まれ、近くの帳付山、天丸山、大山はじめ西上州の紅葉の山々、南の国師、甲武信方面の眺めは素晴らしかった。参加者 7 名。

係：橋本 雅子

☆11 月山行予報 11 月 25 日（日）、五日市・戸倉城山に行きます。JR 五日市線・五日市駅の藤倉行きバス停前に 10:00AM 集合。荷田子峠経由 2 時間で戸倉城山。帰路、拝

島にて反省会予定（17:00～19:00）。11月18日まで幹事の吉田正隆氏（090-6566-3604  
または uhi87591@nifty.com）にご連絡を。 係：吉田正隆  
☆12月山行予報 12月6日（木）、鎌倉です。詳細は来月便りに。 係：増田達治